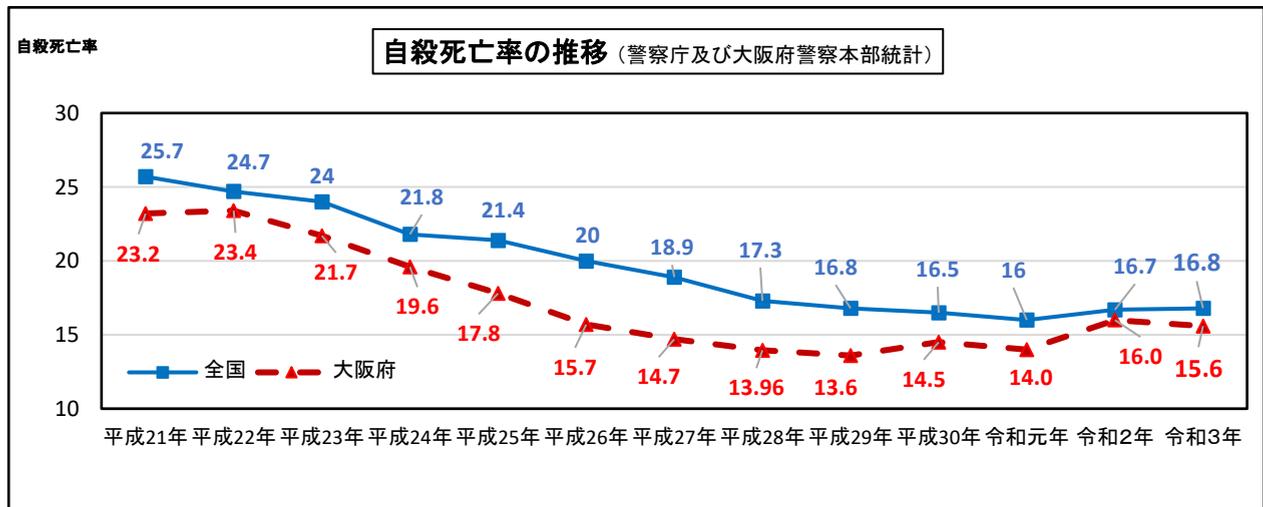
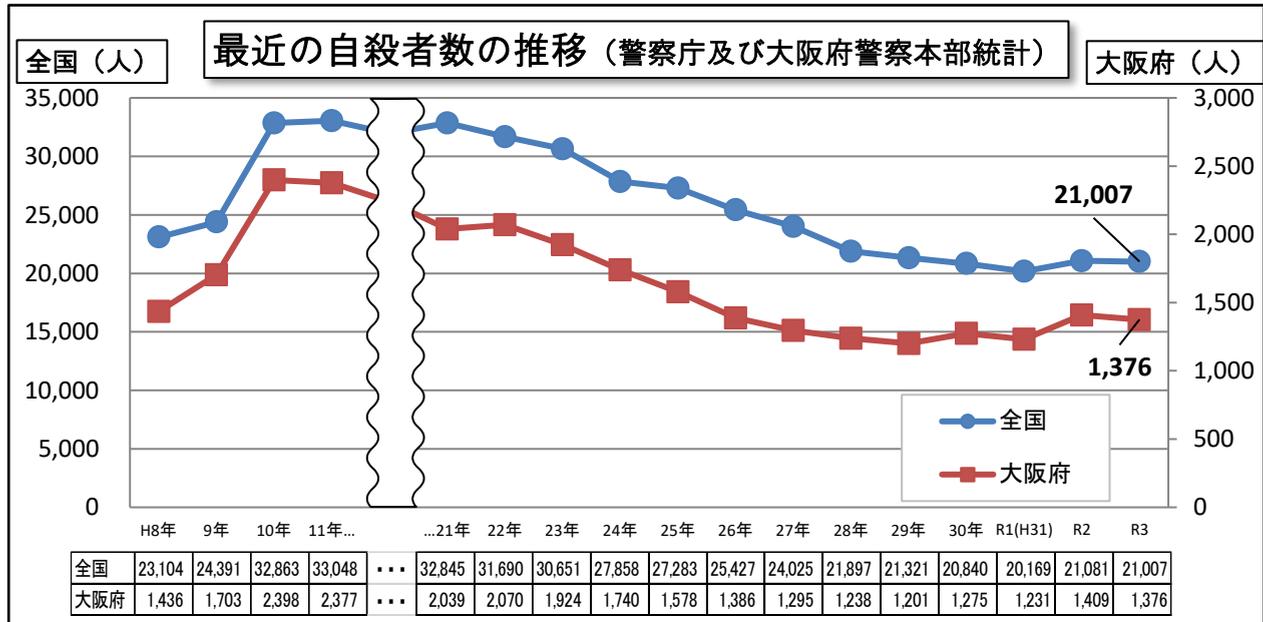


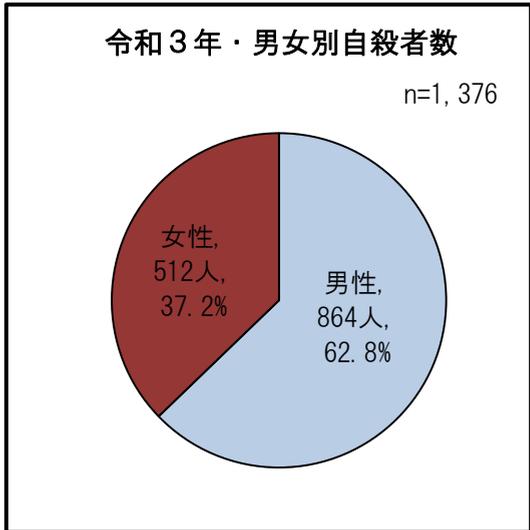
大阪府の自殺の概要<令和3年>

※警察庁及び大阪府警察本部統計（発見日・発見地）

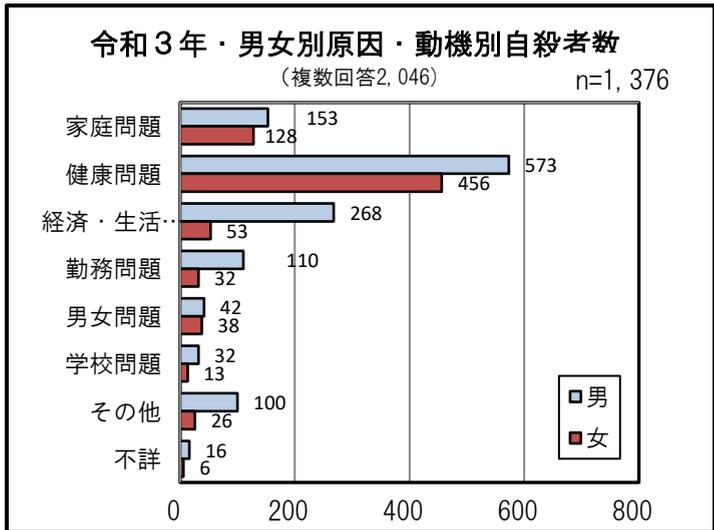


全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

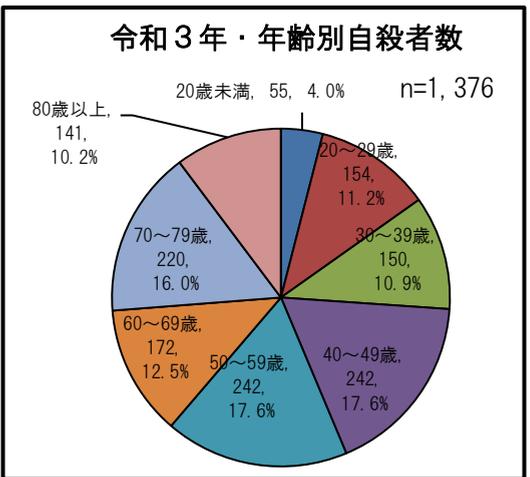
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、全国の自殺者数は11年ぶりに増加しました。令和3年は前年より33人減の1,376人となりましたが、依然として1日に3人以上の方が亡くなられている状況です。自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は15.6となっています。



男女別自殺者数は、男性が864人（62.8%）、女性が512人（37.2%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。

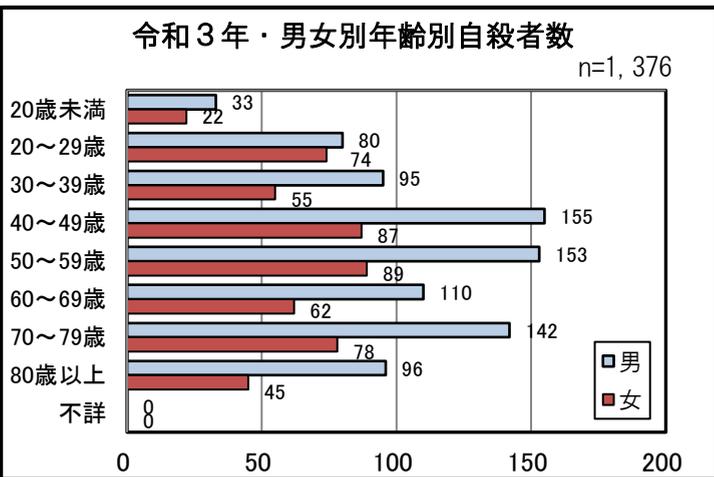


平成19年から原因・動機を3項目まで計上することとなっており、昨年同様「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」の3項目が男女ともに上位を占めています。

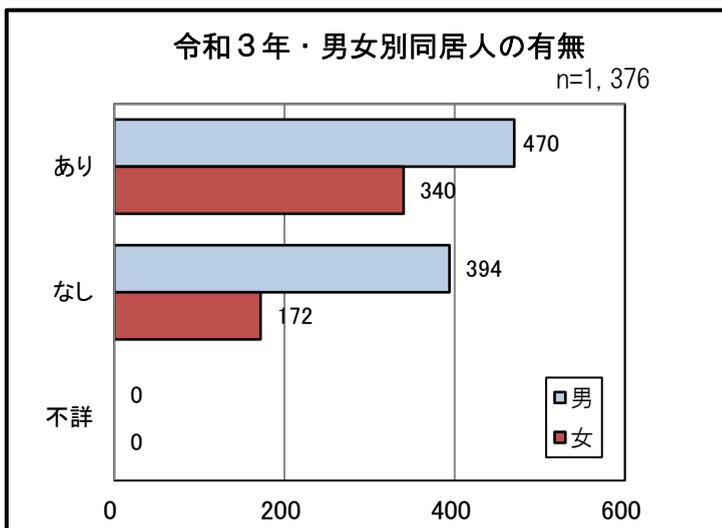
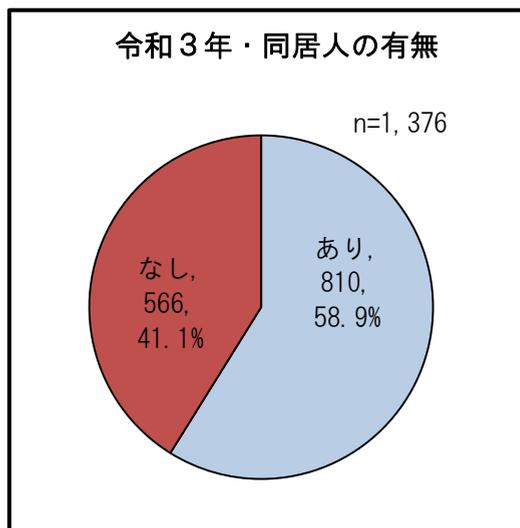


年齢別自殺者数は、「40～49歳」「50～59歳」が242人（17.6%）と最も多く、次いで「70～79歳」が220人（16.0%）、「60～69歳」が172人（12.5%）と続いています。

また、39歳以下の若年層の自殺者数は359人（26.0%）で、全体の約4分の1を占めています。

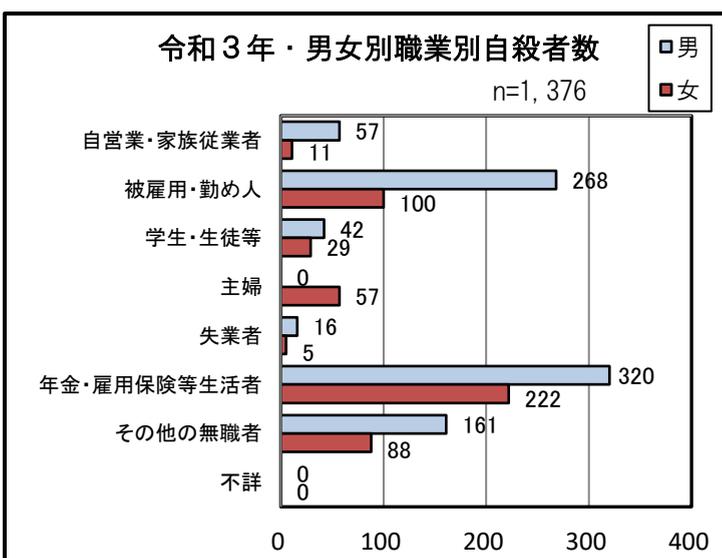
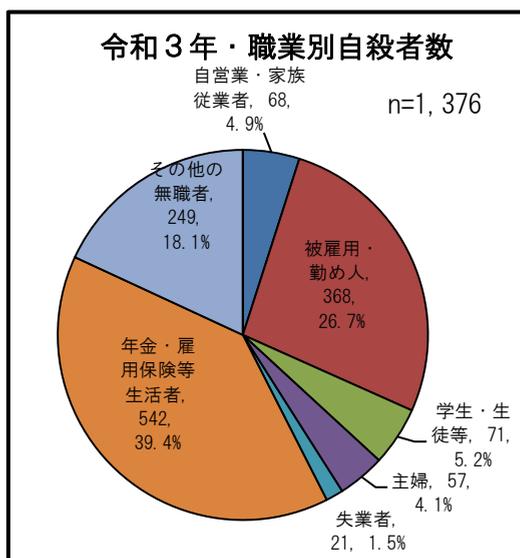


男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「40～49歳」155人（17.9%）が最も多く、次いで「50～59歳」153人（17.7%）が続いています。女性は「50～59歳」89人（17.4%）の自殺者数が最も多く、次いで「40～49歳」87人（17.0%）が続いています。



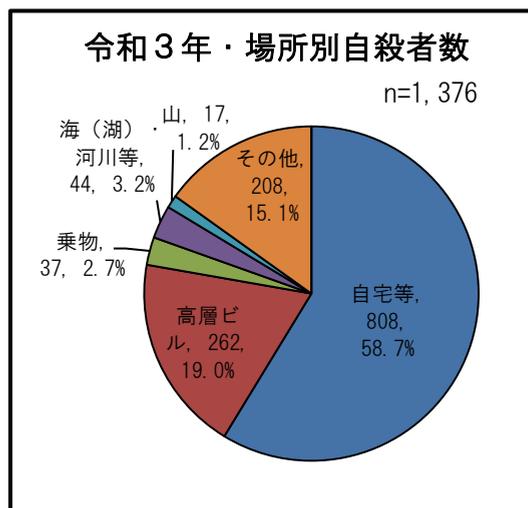
同居人の有無では、「同居人あり」が810人（58.9%）、「同居人なし」が566人（41.1%）となっており、「同居人あり」の方が約6割と多くなっています。

男女別の同居人の有無では、男性470人（54.4%）、女性340人（66.4%）が「同居人あり」で、男性394人（45.6%）、女性172人（33.6%）が「同居人なし」でした。割合で見ると、女性の方が「同居人あり」が多くなっています。

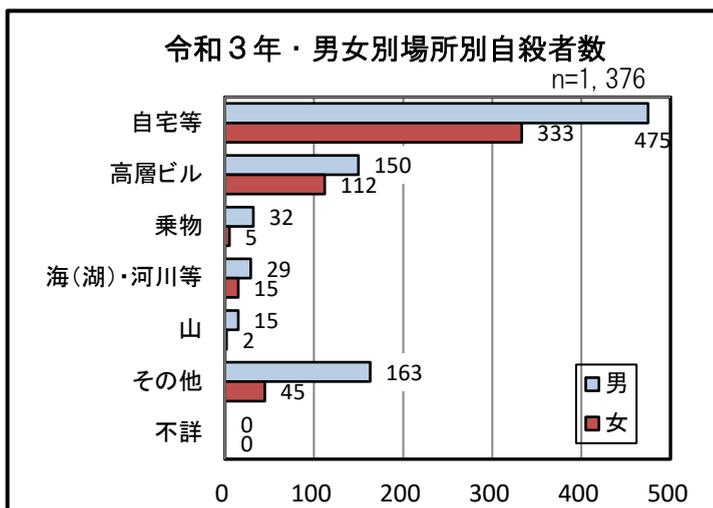


職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が542人（39.4%）と最も多く、次いで「被雇用・勤め人」が368人（26.7%）となっています。

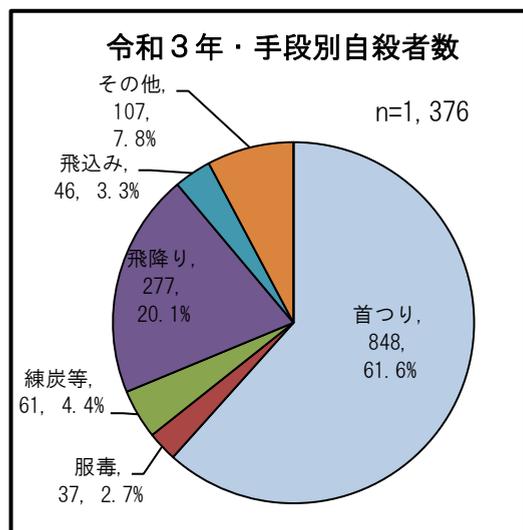
男女別に職業別自殺者数をみると、男女ともに「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「被雇用・勤め人」が多くなっています。「年金・雇用保険等生活者」は男性320人（37.0%）で、女性222人（43.4%）、「被雇用・勤め人」は男性268人（31.0%）で、女性100人（19.5%）です。



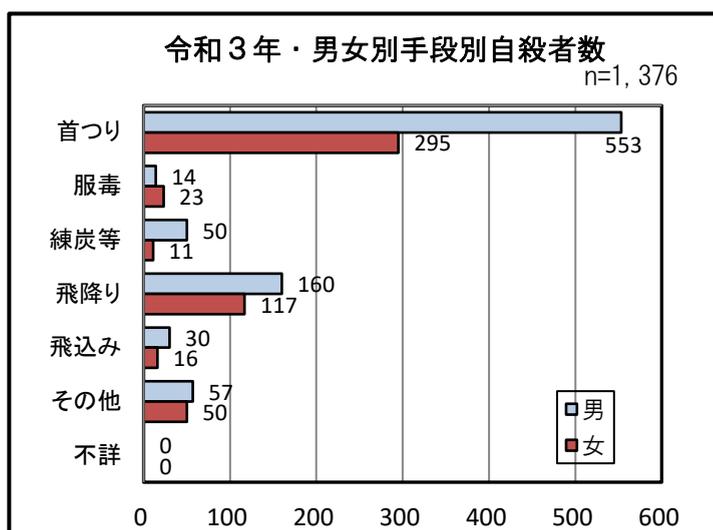
場所別自殺者数では、「自宅等」が808人(58.7%)と約6割を占めています。次いで「高層ビル」が262人(19.0%)と続いています。



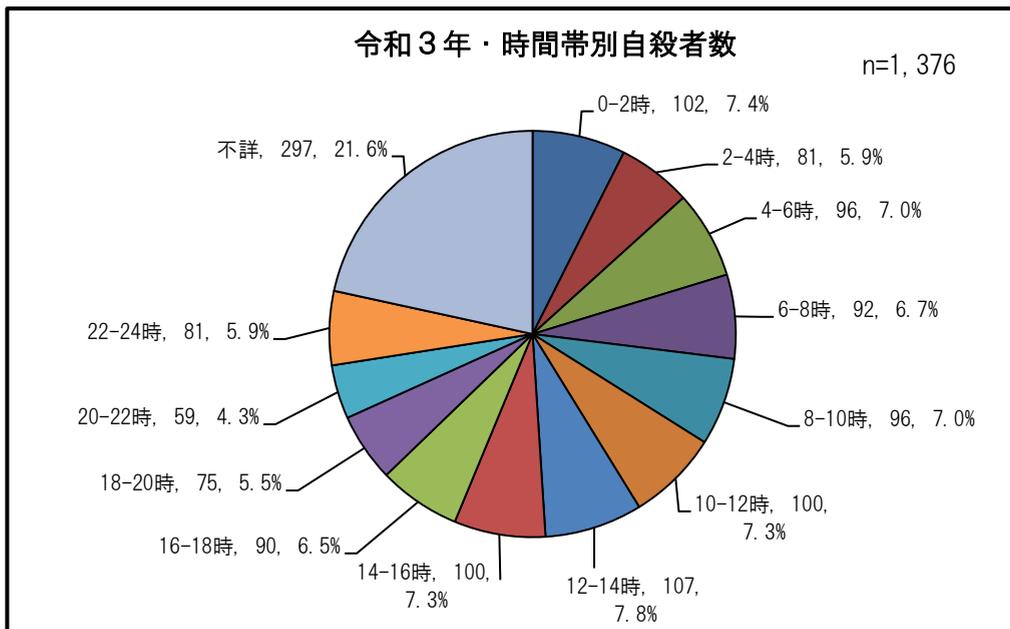
男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」と続いています。「自宅等」が男性475人(55.0%)で、女性333人(65.0%)、「高層ビル」が男性150人(17.3%)で、女性112人(21.9%)です。



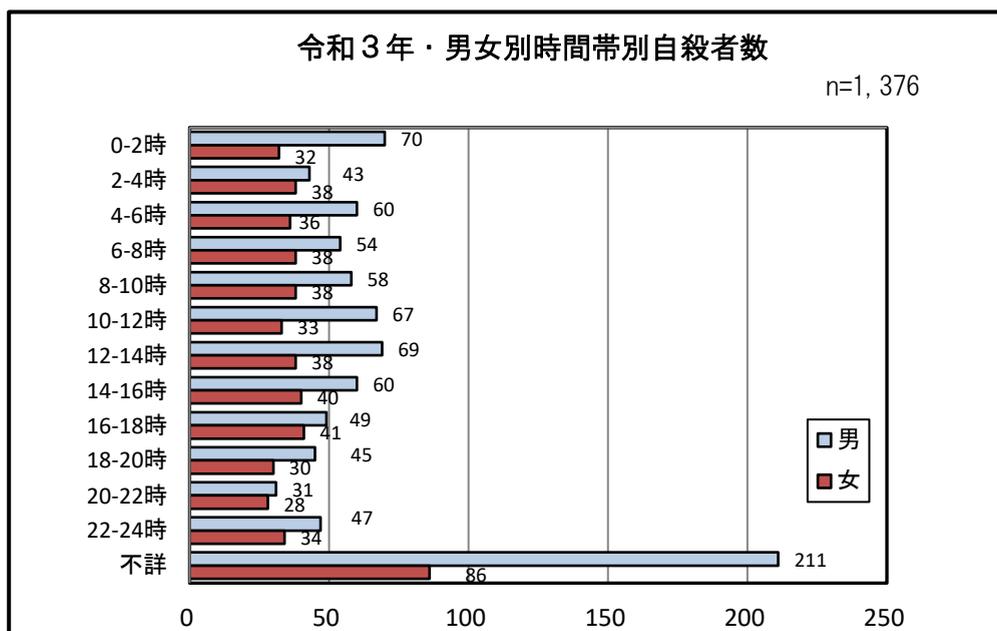
手段別自殺者数では「首つり」が848人(61.6%)と6割を占めています。次いで「飛降り」が277人(20.1%)となっています。



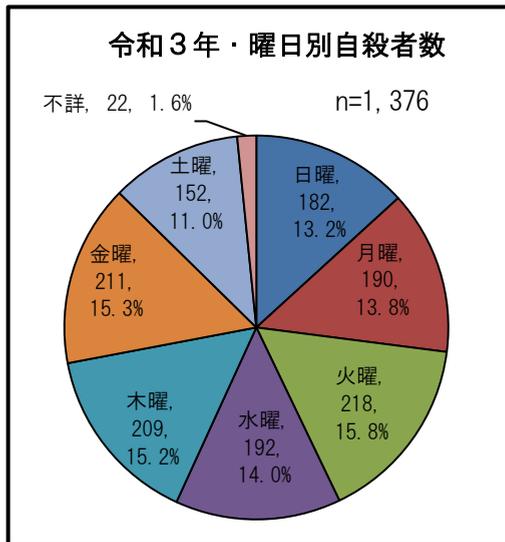
男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。「首つり」が男性553人(64.0%)で、女性295人(57.6%)、「飛降り」が男性160人(18.5%)で、女性117人(22.9%)です。



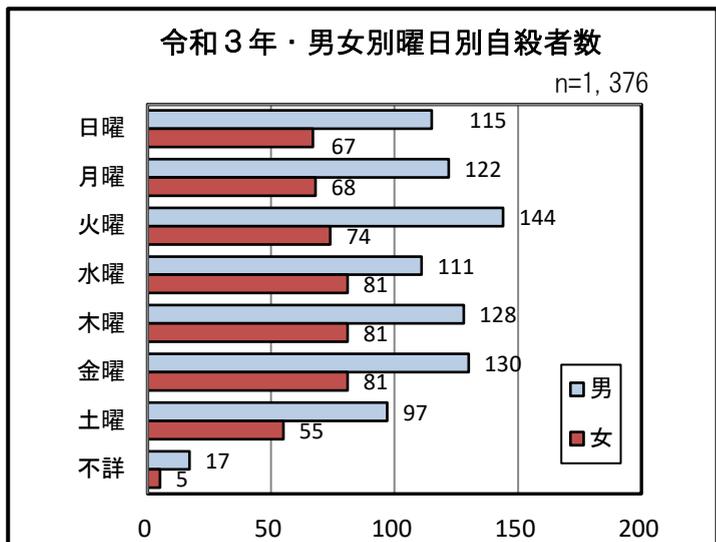
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「12～14時」の107人（7.8%）で、少ない時間帯は「20時～22時」59人（4.3%）となっています。



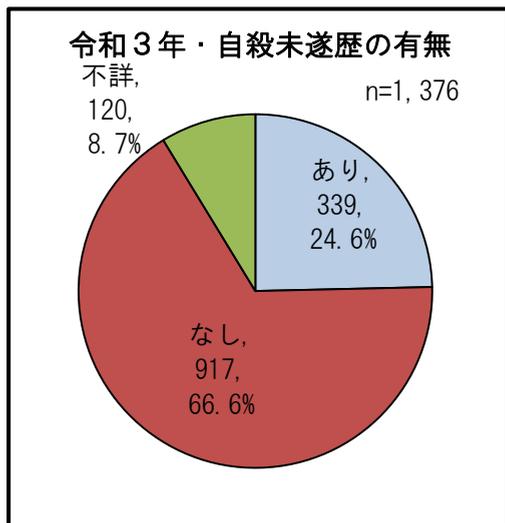
男女別の時間帯別自殺者数については、男性では「0～2時」、女性では「16時～18時」が最も多くなっていますが、時間帯別による大きな差異はありません。



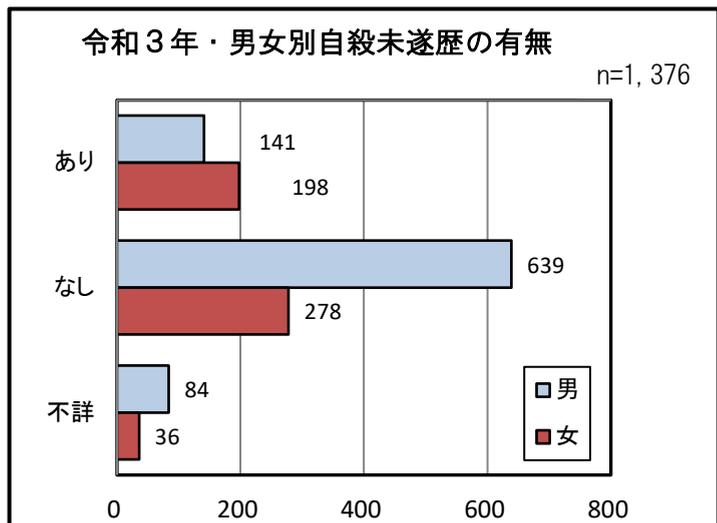
曜日別自殺者数の割合は、「火曜日」の218人（15.8%）が多く、「土曜日」の152人（11.0%）が少なくなっています。



男女別の曜日別自殺者数では、男性は「火曜日」の144人（16.7%）が最も多く、次いで「金曜日」の130人（15.0%）が続いています。女性は「水曜日」「木曜日」「金曜日」がともに81人（15.8%）で最も多くなっています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は339人（24.6%）で全体の4分の1を占めています。「なし」は917人（66.6%）となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は141人（16.3%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は198人（38.7%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性よりも多くなっています。